

山の子 LIVES

謎解きゲーム♪

夏休みのお楽しみの1つに毎年キャンプに行くのですが、今年は緊急事態宣言発令中でいくことができませんでした。その代わりに…プロジェクターでの映画観賞会や近所の神社へ行き謎解きゲームを楽しみました。クイズから出される答えをヒントに、次なるミッションへチャレンジです。グループごとにスピードを競うとあってワイワイと盛り上がっていましたよ。1位になったグループから冷たいかき氷を堪能♡



ハンドメイド



色々なハンドメイド作品作りが流行っている子どもたちです。ビーズアクセサリ、クラフトテープストラップ、編み物など自分好みの作品が出来上がると嬉しそうです。時には家族の為に、誰かへのプレゼントにと作る姿も。心のこもった手作りのものはもらった方も嬉しいですね。

保育園・育成クラブ共に毎日の積み重ねを大切にしています。日々関わる大人が子どもの特性を踏まえ環境を整え、子ども自身で伸びる力をサポートします。少しずつの繰り返しの中で成長し、自信をつけることを大切にしています。

問い合わせ先

山子屋保育園



〒666-0153

川西市一庫字区田3-1

TEL 072-795-0373

ホームページ

山の子 LIVES (放課後児童育成クラブ)

〒666-0105

川西市見野2-24-9 山下見野ビル2階

TEL 072-794-8375

<https://yamagoya-yamanoko.com>

やまごやしんぶん 2022年1月

放課後児童育成クラブ

山子屋保育園 山の子 LIVES



川西市一庫字区田3-1

TEL 072-795-0373

新年あけましておめでとうございます。毎日寒い日が続いていますが、保育園は元気に子どもたちが園庭を走り回っています。今年度は長かった緊急事態宣言も秋には解除され、保護者と共に様々な行事を楽しむことができました。

感染症も流行る時ですが、免疫力アップで元気に冬を乗り越えましょう。

さて、With コロナ時代をどう過ごす？

この2年間で保育園の過ごし方は変わりました。外出がしにくくなり、マスク生活。子育てがしにくいことも増えたのではないのでしょうか。

こんなときこそ、日常の大切さを痛感します。子どもたちとどう過ごすかが、後のよく言われる生きる力と直結しているのです。

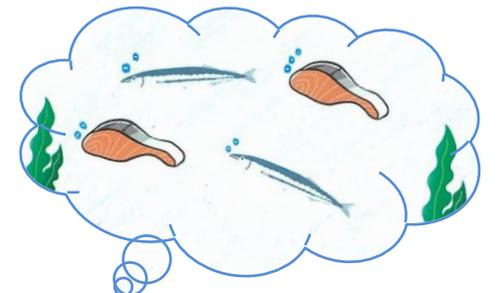
今回は、保育園でのエピソードや体験、保護者から寄せられた疑問を特集します。

魚には抗ウィルス作用も！

毎年秋になると炭火焼きのサンマを外で焼いて食べます。年長になると魚の下処理にもチャレンジします。先生が魚をさばく様子を見て、「血が出る」「内臓気持ち悪い」など意見がでますが、子どもたちは真剣に見つめ、命を頂くということを感じ取っているようです。さて、おうちで魚をさばくことはありますか。骨付きの魚が食卓に並びますか。子どもたちの中にはなんと魚の切り身がそのまま海で泳いでいると思っている子もいました！『本物を知る』ということ意識していきたいですね。保育園では魚の食べ方も教えてもらい、きれいに食べられると嬉しそうにしていましたよ。魚にはEPAやDHAなどの炎症を抑制する働きがあります。脳と関係が深い腸内も整えてくれるのですよ。



きれいに骨がとれたよ！



保育園のトイレトレーニング

1、2歳児のお母さんからよく相談があるトイレトレーニング。「どう進めたらいいかわからない」「嫌がってじっと座ってくれない」など、困っている様子です。「保育園では1歳になるとパンツで過ごしますよ。」と話すたびにびっくりされます。もちろん失敗もしますし、トイレで必ず成功するわけではありません。イヤイヤ期の来る前にトイレに慣れ、濡れると気持ち悪いがわかることが大切です。家庭では少し難しいかもしれませんが、タイミングを決めてトイレに誘っていると、どのタイミングかわかってきます。つつい紙パンツで過ごしてしまいがちですが、始めるタイミングを見直してみるのもひとつです。決して焦ることなく、気長にできるといいですね。



寝起きや食後は比較的 successful しやすいです。お尻がはまらず、両足が地面について安定している方が安心して座れます。大人の便器を使う場合は補助便座や足置きがあるといいですね。



デコボコ道だって楽しい！！

歩き始めた子どもたちが転んだら、近くにいる大人はどのように接しますか？つい抱っこしてしまうのではないのでしょうか。それは自分で立ち上がろうとする子どもの心や力を育てることと反対の行動です。時には手を差し出さないといけないときもありますが、最小限にして将来にわたって自分で乗り越える力を身につけていきたいですね。周りの大人は見守り、必要な手助けが見極めることが大切です。

歩き始めの子どもたちは好奇心いっぱいです。ハラハラすることも多いでしょう。危なくないよう、転んだりしないようではなく、色んな道を歩いて全身を使い、子どもたちの探求心を育てていきたいです。その積み重ねで心も身体もぐんと逞しくなります。日々の歩く機会を大切にしたいですね。

「かさかさ音がする！これ何だろう…」



絵本読んでいますか？

保育園では毎日絵本の読み聞かせをしています。絵本の読み聞かせはイメージを広げ、感性を磨き、考える力を育てていくことにつながります。大人も子どもも様々な本との出会いによって今まで知らなかった世界へと視野を広げていくことができます。

一方、スマホなどの動画やテレビは、じっと集中して試みているのでつい子どもにも与えがちですが、強い刺激に引き付けられているだけで、脳も心も動かず、むしろ落ち着きがなくなり、創造力の育ちの妨げにもなりかねません。

小さいときの習慣は一生ものです。子育て中は忙しく余裕がないかもしれませんが、寝る前の5分を大切にしていきたいですね。保護者から年齢が大きくなるとお話が長くなり、時間がとりにくいと聞きます。そんな時は毎日少しずつ何日かに分けて読んであげるといいです。また、せっかく読んでもめくったりしゃべったりして集中しないと相談も受けません。それは、その絵本があっけないのかもしれませんが。年齢に捉われることなく、その子の育ちにあったものを選んであげるといいです。色んな絵本に触れて見極めてあげるといいですね。文字が読めるようになって、小学校低学年までは読み聞かせは大切です。耳から聞いてイメージすることで、また違った大きな力となります。

おすすめの絵本

『とうふさんがね』
(1歳くらい～)



とうふさんがおいしいごはんになるおはなしです。愛嬌あるとうふさんの「よいしょ」などの掛け声がたくさん出てきて、可愛いですよ。

『どしゃぶり』 (2歳くらい～)



読んでいると、雨の音や感触が伝わってきます。水たまりが大好きな2歳児がいつも嬉しそうに聞いています。

『にんじばたけのパピペポ』
(3歳くらい～)



ケンカばかりの20匹のこぶたの兄弟が、おいしいにんじんを畑で育て、やさしく働き者になる「かこさとし」の絵本です。

『モチモチの木』 (4歳くらい～)



弱虫の主人公豆太が大好きなおじいさんを助けるため、勇気を出すお話です。優しい豆太に心も温かくなります。